



もう一つ、ホワイトと組み合わせることの出来るカラー、それはボリュームゾーン、ビジネスとして最も売れ易い組み合わせの白とブルー、このブルーというのは過去から生き続けている。私共にとってはブルーは海、あるいは大西洋を思い起こさせるものである。ブルーにも様々なニュアンスがありますが、これは最も消費者に好まれるカラーであり、消費者に何の色が好きですかと尋ねると、アメリカでも欧州でも帰ってくる答えはブルーである。そしてジーンズ、ハウスリネンでこのような素材が大々的に使われ注目されている。この場合、コットンとテンセルの混紡がよい。

もう一つ非常に注目されている重要なカラー、レモンイエローである。太陽の色、大変に楽観的なオフェニストの色、インテリア関係では、すでにオレンジが重要視されてきましたがオレンジに取って代わる新しい色として、このレモンイエローが上げられる。これも大変コンテンポラリーなエスプリである。そして最後に重要なカラーとして赤を上げることが出来る。白と組み合わせられる最後のカラーである。植物の模様、葉や花ですら白のバックで赤で描いていくことが出来る。

#### 〈スカンジナビアスタイルについて〉

すでに数年前からこのトレンドは注目されているが、今後どのように展開していくかということでスカンジナビアスタイルを紹介する。消費者の方に尋ねますと皆さんお答えになるのは、自然がほしい、田舎風な感じがよい、あるいはオーセンティックな本物がよい、ないしはトラディション、伝統がいいとお答えになる。そして、色々尋ねますとむしろ北の大西洋側の海から来るような影響を消費者の方は好む。地中海の暖かい海よりもそういった北の海の方にひかれていくようである。ということから、すでにエコロジー的なナチュラル思考の流れというものがあったが、その上にとつてスカンジナビア風ビビットなカラーのタッチを加えていくという新しいトレンドの傾向につながっていくと思われる。木材を整形して丸くする、色々なカーブを付けていく。これはスカンジナビアで発明されたものである。ここでは明るい生成のカラーにビビットな様々なカラーを加えていき、そして2つのダークカラー、ダークマロン、ダークグリーンないしは、黒と白のアクセントを加えていく。総ての白っぽい明るい色の木を使って、そして籐で編み上げたようなヒニョンを使う家具が重要になってくる。このような編み上げ効果も

重要になる。エッセンシャルなもの、ピュアなもの、ナチュラルなもの、彩色したコンクリート、陶器も彩色してきれいな色どりで構成する。テーブルウェアでもサテンのような光沢のあるもの。ガラス器には、時折り色を付けていく傾向が見られ、非常にスカンジナビア的なシンプルでピュアなフォルムの食器が出てくる。照明器具においては彩色したアルミニウムなど。これも自然なインスピレーションを得たフォルムで少し子供ばい模様を付けたりする。そして、プリントにはタシズムの影響が、スカンジナビアの画家コムラが使った様なタシズム。非常にシンプルで素朴な花柄を使う。このテーマ全体に新鮮さと子供らしい感覚が漂うと同時にカラーは、バイカラーあるいは多色使いのデッキチュアストライプなどのストライプも考えられる。もう一つの別のムード、別のテーマで、昨年のシーズンでカリブ風エスニックを打ち出して、私共はそのトレンドの延長線状にあるものとして位置づけている。それはアメリカの西海岸にある町の雰囲気似かよところがある。非常にアシッドなカラーのバリエーション、キャンディーのような非常に淡いホットなフォルム、ピンクと共にうす紫が重要なカラーとなる。30年~50年代、オーレン・マッカーサーが数多く手掛けた家具の再現が考えられる。ある意味では、自分でキッドを組み合わせて作る、手作り風の家具といえるような産業社会に対して、手作りでいるんなものを利用、再生しながら作って行くというエスプリ漂う家具など、ここでもソフトで丸味を帯びた雰囲気が重要になる。トレンドは非常にシンプルなフォルムが強調されるだけでなく、ユーモアも含めたテーマで、ユーモアとかキッズなどの側面を合せもっている。照明器具などは、非常にファンタジーや空想も駆使した楽しい遊びのあるものになっている。ヨーロッパでは色付きのビーズ、玉飾りを数多く駆使するようになる。ガラスでは、ヒニョンもシャーベットのような感じで、少し霜降りしたような感じ、水面の反射を模倣した効果などを取り入れていくことが重要である。そして、イタリアのデザイナー、アリヒョの作品に見られるようなユーモア、ディテール漂うユーモアを使うことによって、日常生活の中にユーモアを取り入れることが出来る。食器では、ハワイ的な図柄を使うことによって遊び心を繰り広げられる。他にもカットした果物なども一つの着想になる。又、マイアミで非常によく使われる素材の竹、これなどもインスピレーションの基になる。食器では、非常にソフトなカラーと、又強烈なダークなカラーそのような2種類のカラーをコントラスト使いで使って